

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年3月

計画の名称	1 総合的な治水対策の推進（防災・安全）緊急対策										
計画の期間	平成25年度～平成26年度（2年間）				交付対象	富山県、富山市、滑川市					
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急に実施する必要性が高い、近年大きな浸水被害が発生した河川や集中豪雨により大きな浸水被害が想定される市街地等の河川において、流域が一体となった総合的な治水対策を実施することにより、県民の安全で安心な暮らしを守る。</li> <li>緊急に実施する必要性が高い、老朽化が著しい海岸施設や所要の耐震性を有していない海岸施設において、堤防改良などを実施することにより、「寄り回り波」や冬期風浪等による越波などから背後地域の生命と財産を守り、国土保全に資する質の高い安全な海岸を創造する。</li> </ul>										
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>年超過確率1/10の規模の洪水を安全に流下させるため、河川事業を行うことにより、河川整備率を55.7%（H25当初）から55.8%に向上。</li> <li>海岸施設耐震化率を98.5%（H25末）から98.7%に向上。</li> </ul>										
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考
									当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H25末)	
河川整備率 = (年超過確率1/10の規模の洪水を対象とした改修済み延長) ÷ (河川整備が必要とされる区間延長)									55.7%		55.8%
海岸施設耐震化率 = (耐震対策済み延長) ÷ (海岸施設の耐震対策が必要とされる区間延長)										98.5%	98.7%
全体事業費	合計 (A+B+C)	6,016百万円	A	6,009百万円	B	百万円	C	7百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.1%
<b>事後評価（中間評価）</b>											
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期											
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期					
富山県土木部河川課						平成27年3月					
						公表の方法					
						富山県ホームページ					
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> <li>広域河川改修事業等を実施した結果、河川整備が必要とされる区間の改修が進み、河川整備率が向上した。</li> <li>老朽化対策緊急事業等を実施した結果、耐震対策が必要とされる堤防の改修が進み、海岸施設耐震化率が向上した。</li> </ul>								
II 定量的指標の達成状況		指標①（河川整備率）	最終目標値	55.8%	目標値と実績値に差が出た要因	補正予算の活用により、河川の整備を進めたため。					
			最終実績値	55.9%							
		指標①（海岸施設耐震化率）	最終目標値	98.7%	目標値と実績値に差が出た要因						
			最終実績値	98.7							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）											
3. 特記事項（今後の方針等）											

(参考図面)

